

アスパラガス収穫作業のつらい中腰姿勢を解消！

～立ったままで収穫できる柄の長いハサミ～

連携機関 | (独)農研機構中央農業総合研究センター、金星大島工業(株)

研究期間 | 平成21～23年度[競争的資金研究^注]

注) 農林水産省新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業(課題番号21063)



研究開発のきっかけ

- ◆ アスパラガスは、地面から出た若い芽を一本ずつハサミや鎌で収穫します。収穫は、4月中旬から10月上旬まで毎日行います。
- ◆ アスパラガスの生産者は、右の写真のように、中腰で葉が茂った中にもぐり込み、収穫しなければなりません。生産者からは、このようなつらい中腰姿勢の改善が求められていました。



研究成果の概要

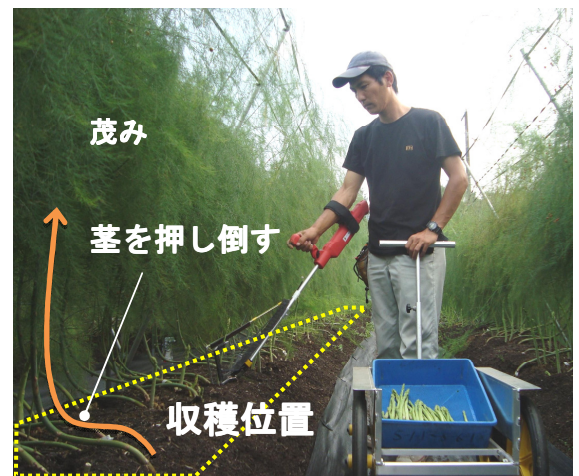
- ◆ 立ったままで収穫できる柄の長い電動式の収穫ハサミを開発しました。腕固定用バンドと首掛け用補助バンドの利用により、片手でも楽に操作できます。
- ◆ 収穫ハサミの先端部は次の2タイプがあり、作業条件等によって選ぶことができます。

つかみタイプ：切断したアスパラガスを刃の上でつかみます。

また、コンパクトで取り回しが簡単です。

ストックタイプ：先端部に収納ケースがあり、5～10本を連続して収穫できます。

収穫したアスパラガスは、収納ケースからそのまま収穫カゴに移すことができます。



研究成果の活用状況

- ◆ 柄の長い電動式収穫ハサミは、金星大島工業株式会社が販売しています。
- ◆ 収穫の邪魔になる茎を畝の奥側に押し倒して、収穫する芽が出てくる位置にその茂みがない様に仕立てる「母基地際押し倒し法」(県有特許：特開2008-220330)も開発しています。この仕立て方と収穫ハサミを組み合わせることで、立ったままの姿勢で効率よく収穫できます。

問い合わせ先 | 農業技術センター 技術支援部 | TEL 082-429-0522